

農業の道を未来へ切り拓くために

Agri Road

アグリロードながおか

No.41

2024年9月30日
発行

長岡市担い手育成総合支援協議会（事務局／長岡市農林水産部 農水産政策課）

特集

農業情熱ランナー ～挑戦への道～

～未来へつなぐ 組織づくり～

[information]

- 「地域計画」の策定に向けて、市内全域で「協議の場」を実施しました
- 農地を集積・集約して機構集積協力を活用しませんか
- 稲わら・籾がらを使って、田んぼを元気にしよう!
- ストップ農作業事故!
- 農繁期や人手不足解消に! 農業アルバイトを活用してみませんか?

[農政 VOICE]

日進月歩

(写真:稲刈りとトンボ)

次世代農業推進拠点施設がオープン!

“儲かる農業”へ 農業者を全力サポート

「次世代農業推進拠点施設」は、主に農業者を対象に、農業用ドローン、ラジコン草刈機などのスマート農業機器や最新技術を取り入れた次世代園芸施設での実証実験、地場産食材を加工する研修などを実施しています。ICT（情報通信技術）を活用した農業の省力化や食品加工による高付加価値化を後押しし、市内農家の経営強化を目指します。

研修会情報

※開催時期、内容は変更となる場合があります

10 米粉を使った地産地消・6次産業化研修会
月 ◆米粉による6次産業化の可能性を学ぶ

11 スマート農業研修会
月 ◆直播、可変施肥等の最新事例を学ぶ

お申込みについては施設へお問合せください!

次世代農業推進拠点施設 TEL.34-5360



農業用ドローン操作体験・研修



ICT（情報通信技術）や自動灌水システムなどを活用し、環境負荷抑制・高品質栽培が可能な次世代型の施設（トマト栽培）



スマート
アグリ長岡



施設
HP



施設
Instagram

担当：長岡市農水産政策課次世代農業推進係

稲わら・籾がらを使って、田んぼを元気にしよう!

稲わら・籾がらは貴重な有機資源です。

稲わら・籾がらは焼却せずに、すき込みや堆肥に利用し、環境にも人にも優しい米づくりに役立てましょう。

- 稲わらは、地力の向上に効果が見込めます。
 - 籾がらは、ケイ酸質資材として活用できます。
- ※秋すき込みは、次のポイントに注意して行いましょう。

- 秋すき込みのポイント
- 地温の高い10月中に行いましょう。
 - 5～10cm程度の「浅うち」にしましょう。

稲わら等の焼却は...

※焼却（野焼き）は一部の例外を除き原則禁止されています。焼却による煙は、車の視界を遮り重大な事故を引き起こしたり、地域住民の健康被害の原因となります。稲わら等は焼却せずに土づくりに活かしましょう。

農繁期や人手不足解消に! 農業アルバイトを活用してみませんか?

長岡市が作った「働く」と「体験」をつなぐアプリ

農業仕事 のらばいと

【累計3,100件ダウンロード!!】

- ◆掲載もマッチングも経費は無料!
- ◆8月末時点で67%のマッチング率!
- ◆女性やダブルワーカーにも人気です。

農繁期の人手不足など、ぜひ積極的にご活用ください。使ってみたいがやり方がわからない、などご不明点がありましたら、農水産政策課担い手育成係へお尋ねください。

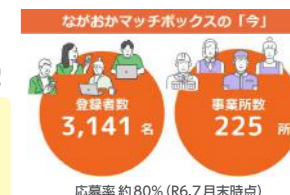


農業は大変なイメージでしたが、女性でもやってみると意外とできて楽しい! 転職を機に、農業に興味を持ち、まずは体験してみました! アプリも使いやすかったです!

問い合わせ先 担い手育成係 TEL.39-2223

【長岡市公式の人材マッチングサイト】 ながおかマッチボックス

- ◆アカウント登録、求人掲載は「無料」
 - ◆費用は採用があった時だけ!
 - ◆市内農家の活用も広がっています
- ながおかマッチボックスを通じて正社員3名確保 (20代2名、40代1名)
※掲載して2か月で41人が応募!



コスト/手間/デジタル化の課題も解決



詳細は「ながおかマッチボックス 事業者向けサイト」または運営事務局へお問い合わせください!

問い合わせ先 運営事務局 TEL.0120-425-362
事業主体 商工部 産業立地・人材課

農政のうせい VOICE

日進月歩

長岡市農林水産部長 波形 隆一

“稲作農家の皆様、日々のたゆまぬ努力と情熱に深く敬意を表します。近年は、異常気象が続き、皆様の大切な田畑が甚大な被害を受けたことに、心よりお見舞い申し上げます。この困難な状況に対し、私たち行政も皆様と同じ思いであり、できる限りの支援を行ってまいります。農業の基盤である皆様の力を信じ、共に未来を切り拓くため、私たちは全力を尽くしてまいります。どのような逆境も乗り越え、豊かな収穫を目指して一丸となって頑張りましょう。”

さて、こちらのあいさつ文はいかがですか?実はこれ、AI（人工知能）を使って作成したものです。“異常気象”“行政”“支援”というキーワードと文字数、私の職名を条件にして作られたもので、作成時間は2秒もかかっていません。文章の良し悪しは別として、AIが、ここまで人の作業を代替する機能を備えていることに驚きです。

世の中では、急速にAI技術が生活の中に入ってきており、大

な変化をもたらすと考えられています。AIなんて、何に使うのか?と思いますが、これまで、携帯電話は、ただの通信手段と思っていたものが、財布になり、身分証明書になり、今では無くてはならないものとなっています。それから考えると、いずれ、AIもさらに進化し、ますます身近なものになっていくと予想されます。

人口減少や少子高齢化の進行が、農業分野においても影響を及ぼしていることは、皆様もご承知のことと思います。これからも、米づくりの技術やこだわりを変えることも無いと思いますが、課題を解決する希望として、AIやDX、スマート農業など横文字技術を考えてみてはいかがでしょうか。多くのデータや言葉を蓄積し、人間の考える作業を、より多く、より正確に物凄いスピードで行うAIは、農業分野での導入がまだまだですので、今後、作業の省力化、人手不足への活用が大きく期待されます。

“私たち行政は、全力でサポートを続けてまいります。共にこの難局を乗り越え、豊かな収穫を目指して頑張りましょう。”ちなみに、これもAIが作った締めの言葉です。ここまでくると私の仕事は何???と心配になりますが、日進月歩で進化する技術に戸惑うのではなく、仲良く付き合っていきましょう。



未来へつなぐ組織づくり

今回は、6月の総会で、長岡市農業者担い手ネットワークの新会長に就任された、小国地域の農事組合法人ちやざわ生産組合で代表理事を務める佐藤好和さんにお話を伺いました。

(農)ちやざわ生産組合



農事組合法人
ちやざわ生産組合
代表理事 佐藤 好和 さん

・栽培作物／水稲、大豆ほか
・経営面積／約57ha

今後は、どのようなことを法人で取り組まれていきたいですか。

加工施設も持っているのですが、農産物の加工をもっと充実したものに、地元の子育てがひとだんらんした女性に戦力として作業をしてもらえたらどうかと考えています。じゃがいもを使ったもち(いもち)、米粉をつかったみたらし団子、ワッフル、三色団子など出してみたいです。自身ではおこわづくりもやっていますし、12月はひと月まるまるかかってもちつきをしています。お米をインターネットで販売しているので、餅もインターネット販売できるのであるかと考えています。インターネットを使えば冬場でも稼げるので、冬場の従業員の給与にあてたいと思っていますね。

佐藤さんは、小国地域の認定農業者組織の会長さんでもあられますが、今後、小国地域の農業は、どのような展開になっていくと良いでしょうか。

地元で後継者を探すのは難しいと思うので、地元にはないなら、就農フェアなどに顔を出してはどうかと思いますね。地元からだけでは、次世代を確保してみたらどうかと思っています。考え方は、農業者が好きな、という人を巻き込んで、等米を作るぞ、ということを目指すのではなく、まず、作ってみる。そこで「この虫食いはなんだ」など疑問をもって、そこから掘り下げていく。最初からぎゅぎゅつに詰め込んで嫌になってしまつてしまふ。まず

(農)ちやざわ生産組合での経営の概要を教えてください。

従事者数は、役員をのぞいて正社員4名、市外からも来てもらっており、地域からパートさんを3名雇用しています。栽培品目は、水稲、大豆のほか、野菜は、カリフラワー、ブロッコリー、大根、サツマイモなど、その他花き、生産物加工品もしています。出荷先は、主にJAや米問屋、そのほかインターネットや地縁者等で遠くは九州まで個人消費者の方60名ほどに販売しています。

法人経営に至ったきっかけを教えてください。

圃場整備をきっかけに、平成18年に鷺之島生産組合が、平成19年に千谷沢生産組合の2つの農事組合法人が設立され、2組織が平成24年に合併して、今の農事組合法人ちやざわ生産組合になりました。

法人経営の課題といえば、従業員・後継者確保も一つあるかと思いますが、いかがですか。

ハローワークに1名の募集をかけたところ、2名の応募があり、そのまま2名雇用しました。やってみれば、きっと性に合っている人がいるはずですから。あとは、若い人に任せたいのも大事ですね。当法人では、若手にドローンを担当させています。

小国地域の認定農業者組織においては、横の付き合いを密にしていきたいのが大事かなと思います。単独でやってもがちがちになるので、人の良いところ悪いところを見れば、自分の良いところ悪いところも見えてくる、年に1回の研修会で交流して、飲み始めたらしい話が出てくるので、今後も続けていきたいですね。

長岡市農業者担い手ネットワークでは、どんなふうに取り組まれていますか。

前会長はとてもよく頑張っておられました。自分も自分なりの人生を生きてきているので、脇で支える側としていきたいですね。あくまでも主役は、会員一人一人だと考えているので、それを自分がサポートしていければいいかな(笑)。

終始笑顔で色々なお話をしてくださいました。お忙しいなか、貴重なお話を聞かせたい佐藤さん、大変ありがとうございました。各地域、ごも後継者確保や今後の組織づくりが課題となるなか、非常に参考になりました。

た。その採用をきっかけに、ハローワークから高校の卒業生もいるが、という話も聞いて、若い芽は大事にしないと、と思い採用しました。また、2年前に、経理が手一杯になったのと、今後株式会社化したいという思いから、「経理と農作業ができる人、事務員募集と出したら応募があり、計4名の採用に至りました。来春にも最低1人雇いたいと考えています。

求人募集を出されて、うまく雇用につながられたのですか。

また今後、株式会社化も予定されているということですが、どういったきっかけでしょうか。

今後、現在の農事組合法人から、株式会社に移行する予定で、現在定款を作っているところです。現在の法人の定款では、「土地をもっている人しか役員になれない」という制約があるのですが、この先へも続く組織づくりをしたい、という考えでいることから、現在の定款を見直すのではなく、株式会社化してしまおう、というものです。株式会社化は、メリットだけでなくデメリットもあることは承知していますが、メリットとしては、きちんと代表者やそれぞれの役割に見合った賃金を払っていただけることですね。現在は、自分が代表をしていますが、今後、引継ぐ代表者や従業員が「頑張れば稼げるんだ」とこの組織なら働きたい」と思える環境を整えておくことで、今後の組織が続いていくことが私の願いです。それに伴って今後は、経営規模も拡大していきたいと考えているので、他の集落でもいいですが、まとまった区画の農地が欲しいですね。



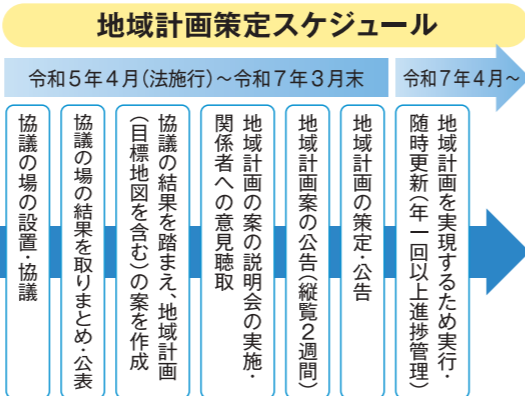
(農)ちやざわ生産組合の皆さん

「地域計画」の策定に向けて、市内全域で「協議の場」を実施しました

今年に入り、地域の将来の農地利用について考える「協議の場」を、旧長岡地域・寺泊地域を除く市内全域で実施しました。皆様から出た課題や意見を整理し、「協議の場」の内容について、市のホームページで公表しています。農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様には、現在目標地区の素案作成を進めていただいております。今後は、地域計画案の説明会や関係機関への意見聴取等を経て、今年度末までの策定を進めてまいります。引き続き、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



担当：農水産政策課 担い手育成係



①地域集積協力金

区分	農地バンクの活用率		交付単価(円/10a)
	一般地域	中山間地域	
1	40%～50%		13,000
2	50%～70%	15%～30%	16,000
3	70%～80%	30%～50%	22,000
4	80%～	50%～80%	28,000
5		80%～	34,000

②集約化奨励金

区分	地域の団地面積の割合	交付単価(円/10a)	
		一般タイプ	受け皿準備タイプ
1	10ポイント増加	10,000	5,000
2	20ポイント増加	30,000	15,000

農地を集積・集約して機構集積協力金を活用しませんか

農地中間管理事業(農地バンク)を活用し、担い手への農地の集積・集約化に取り組む地域に対して協力金を交付します。

- 生産性の向上のため地域で話し合って農地をまとめた
 - 法人設立等に伴い地域内の農地を集積した
- などの事例があり、事業申請をご検討の地域は、お早めにご相談ください。
※対象となる農地の権利設定は、11月受付分までです。
※予算の範囲内での対応となります。

詳細は農林水産省 HP へ

担当：農水産政策課 担い手育成係